

ベナン月報(2015年4月)

主な出来事

【内政】

- 26日, 第7次国民議会選挙が実施された。
- 28日, 臨時閣議で2016年大統領選挙の第一回投票日が2016年2月28日, 第二回投票日が3月13日に決定された。

【外政】

- 12日, ガボンの首都リーヴルヴィルで, 在ガボン・ベナン大使館が放火された。
- 22日, アフリカ連合はトラオレ元マリ暫定大統領をリーダーとする選挙監視団をベナンに派遣した。

【経済】

- 1日, アフリカ沿岸ヨーロッパ間海底ケーブルがベナンに接続された。
- 22日, ベナン石油公社(SONACOP)労働組合は, 最近のガソリン不足の原因は, 企業の経営体制及び違法ガソリンの市場の占有率の高さからくる慢性的な赤字体質であるとして, ベナン政府に支援を求めた。また, ガソリンチケットの使用に関して, 偽造や盗難, 換金が横行しているとした。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および L'Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

(1)内政

- ・ 2日, 第6次国民議会の最後の議会となる2015年最初の通常国会が始まった。(3日, La Nation 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および L'Autre Quotidien 紙)
- ・ 3日, ナイジェリア国境のボルグ県ペレレ市オガモワン地区にある7つの村は, 独立以来ナイジェリア政府によって管理されてきたが, 公式にベナン政府の管理下に置かれることになった。(6日, Le Matinal 紙)
- ・ 7日, クチェ(M. Komi KOUTCHE)経済・財務・民営化大臣は指導監督評議会(COS/LEPI)に対する6.11億 FCFA の支出を発表した。これは, 有権者 ID カードの配布に必要とされる資金を補填するものである。(8日, La Nation 紙, L'Autre Quotidien 紙)
- ・ 10日, 全国で26日の国民議会選挙の選挙キャンペーンが開始。(13日, La Nation 紙)
- ・ 13日, CENA はコトヌで選挙コーディネーターの研修を開始した。(15日, La Nation 紙)
- ・ 14日, 憲法裁判所は国民議会選挙の実施日は26日を維持しなければならない, COS/LEPI が要求している8.21億 FCFA を政府が拠出しなければならない, という判決を下した。(15日, La Nation 紙)
- ・ 14日, 野党 RB, Alliance Soleil, Reso ATA0, ABT 及び UN は会見を開き, 16日まで有権者 ID カードの配布が開始されないようであれば, 17日金曜日にデモを行うようにと支持者に呼

びかけた。(15日, La Nation 紙)

- ・ 14日, 憲法裁判所はCOS/LEPIの活動停止, 選挙人カードの作成・配布の活動は情報処理センター(CNT)に行わしめること, 財務省に対し, これに必要な措置をとるよう命ずる決定を下した。(15日, La Nation 紙)
- ・ 16日, ナティティング市役所の無期限ストライキが2週目に突入した。同市役所は6日からストライキを行っている。(17日, La Nation 紙)
- ・ 17日より各地で選挙人カードの配布が開始された。(21日, La Nation 紙)
- ・ 17日, 内務省はコミュニケを発出し, 選挙期間中のヘルメット着用義務違反に対する過度な摘発を行わないことを発表した。(18日, La Nation 紙)
- ・ 26日, 第7次国民議会選挙が実施された。(27日, La Nation 紙, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, ジュグ市のダングサル地区で選挙の実施を巡って異なる村の住民同士が対立, 抗争が発生し2名が死亡, 複数名が重傷を負った。(28日, La Nation 紙)
- ・ 28日, 臨時閣議で2016年大統領選挙の第一回投票日が2016年2月28日, 第二回投票日が3月13日に決定された。(29日, La Nation 紙)

(2) 治安

- ・ 2日, コトヌ市で2件の強盗事件が発生。16時頃, アグラ地区のベナンビール醸造公社(SOBEBRA)の倉庫にカラシニコフを所持した3名の強盗が侵入。40万フランを強奪。1人が腰部に被弾し, 緊急搬送された。また, 同日21時30分ごろ, カジェウン地区のスーパーマーケット「Franc Prix」に強盗が侵入した。被害状況は不明。(3日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 8日, コトヌ市ベガメ地区及びアグラ地区で大雨による浸水が起こり, 電子機器や商店の商品など, 多くの被害を出した。(9日, La Nation 紙)
- ・ 16日, アボメイ・カラビ市アカサト地区で, 密輸ガソリンを保管していた家に車が突っ込み, ガソリンに引火, 火災となり9名が死亡した。(17日, La Nation 紙)
- ・ 17日, ポルト・ノヴォで3名の若者がバイクの窃盗で逮捕された。犯人は組織だった犯行を行っており, 自宅からは11台の盗難バイクが発見された。(21日, La Nation 紙)
- ・ 22日, ポルト・ノヴォで与党FCBEの選挙カーが放火された。(23日, Le Matinal 紙)
- ・ 23日, 死者の名前で架空の会社をつくり, 水道局の資金30億FCFAを流用していたレミ・コド氏が逮捕された。同時に, 仲間である呪術師も逮捕され, 自宅からは人骨などが押収された。(24日, Le Matinal 紙)
- ・ パラク市ンダリ地区で強盗が発生。強盗は車に乗っていた人々に発砲し, 30名前後が負傷。同地区では同様の被害が頻発している。(29日, Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 12日, ガボンの首都リーヴルヴィルで, 在ガボン・ベナン大使館が放火された。これは, ガボンの野党政治家, ンバ・オバム氏(M.André Mba OBAME)の死はベナンの呪術によるもので

あると主張する支持者の暴動によるものである。(13日, La Nouvelle Tribune 紙)

- ・ 14日, 潘基文国連事務総長の特使がヤイ大統領のもとを訪れ, ボコ・ハラム対策や選挙の平和裏な実施について意見交換を行った。(15日, La Nation 紙)
- ・ 22日, アフリカ連合はトラオレ元マリ暫定大統領をリーダーとする選挙監視団をベナンに派遣した。(23日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ (3月31日)塚原駐ベナン日本大使とバコ(M.Nassirou BAKO-ARIFARI)外相は,「アトランティック県アラダ病院建設・整備計画」にかかる95億 FCFA の無償援助の交換公文への署名を行った。(1日, La Nation 紙)
- ・ 1日, アフリカ沿岸ヨーロッパ間海底ケーブルがベナンに接続された。この光ケーブルによる接続によって, 秒速5.12TB での通信が可能になる。工事にかかった費用はおよそ170億 FCFA で, 世銀によって援助された。(2日, La Nation 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 6日, ヤイ大統領は, コヌ市ゾンゴ地区において, 仏ボロレ・グループによって建設された「ブルーゾーン(コヌ中央駅に隣接するレクリエーション施設)」の落成式に出席した。(8日, La Nation 紙)
- ・ 7日, ベナン政府は西アフリカ開発銀行(BOAD)と, マリア・グレタ発電所増強計画及びパラク市上水道整備計画にかかる100億 FCFA の借款協定に合意した。(8日, La Nation 紙, Le Matinal 紙)
- ・ 9日, ヤイ大統領は, コヴェ市において, アゴンラン・ゾーン病院の落成式に出席した。この病院は, イスラム開発銀行による37億 FCFA の援助によって建設された。また, 同日, ヤイ大統領は日本の援助によるアラダ病院建設のための起工式にも出席した。(10日, La Nation 紙)
- ・ 22日, ベナン石油公社(SONACOP)労働組合は, 最近のガソリン不足の原因は, 企業の経営体制及び違法ガソリンの市場の占有率の高さからくる慢性的な赤字体質であるとして, ベナン政府に支援を求めた。また, ガソリンチケットの使用に関して, 偽造や盗難, 違法な換金が横行しているとした。(23日, La Nation 紙)